

ポーランド、特許審査ハイウェイの試行を日本と開始

2013年1月31日
JETRO デュッセルドルフ事務所

ポーランド特許庁 (UPRP) は、1月30日、日本特許庁 (JPO) との特許審査ハイウェイ (PPH) 試行プログラムを1月31日から開始する旨、同庁のウェブサイトにおいて報じた。

UPRP のウェブサイトでは、PPH のアイデアが2003年にJPOと米国特許商標庁 (USPTO) の間で誕生し、2006年に試行が始まった歴史が紹介されている。また、第1庁で特許を取得した出願人が、PPH を利用することで、他庁でより早くより安く特許が取得できると紹介されている。

ポーランドにとっての PPH 合意は、今回が初めてである。

— UPRP によるプレスリリースは、以下参照 (ポーランド語) —

[Program pilotażowy PPH \(Patent Prosecution Highway\) Urzędu Patentowego Rzeczypospolitej Polskiej \(UPRP\) i Japońskiego Urzędu Patentowego \(JPO\)](#)

— JPO によるプレスリリースは、以下参照 (日本語) —

[ポーランド特許庁と特許審査ハイウェイを開始します \(PDF\)](#)

— 要件と手続きの説明は、以下参照 (日本語) —

[日ポーランド特許審査ハイウェイ試行プログラムについて](#)

(以上)